

グラフィック界の次世代を担う若手を発掘する

# 第25回グラフィック「1\_WALL」展

2022年6月28日(火)～7月23日(土)

11:00a.m.～7:00p.m. 日曜・祝日休館 入場無料

公開最終審査会 2022年7月14日(木) 6:00p.m.～8:30p.m.

ライブ配信・要予約 詳細はWEBをご確認ください。

(当日5:30～7:00p.m.は審査のため、ギャラリーにお入りいただけません。)

ガーディアン・ガーデンでは、個展開催の権利をかけた公募展、第25回グラフィック「1\_WALL」展を開催します。グラフィック部門としては、本展が最後の「1\_WALL」展となります。

ポートフォリオ審査による一次審査と、一対一で審査員と対話する二次審査を通過したファイナリスト5名が、一人一壁面を使って作品を発表するグループ展です。会期中の公開最終審査会で、ファイナリストがプレゼンテーションを行なった後、審査員による議論を経て、グランプリが決定します。グランプリ受賞者には、1年後の個展開催の権利と、個展制作費30万円が贈られます。

日常の何気ない風景の中から心の微機をすくい取り、色を染み込ませた布やコラージュなどで雪を描く池田洗太。防犯カメラに記録されるリアルでプライベートな瞬間を映像作品にした趙文欣。アクリル絵の具、スプレー、木炭、アルミテープを使い、生命力あふれる作品を描き出すタツルハタヤマ。母との関係性をもとに、他者／社会との在り方を果物に置き換えた絵画作品を制作する儲観雯。絵画と鑑賞者との関係を探るために、膠、アクリル絵の具、鉛筆を用いてインスタレーションを展開する平松可南子。今回の「1\_WALL」展は、以上5名によるグループ展です。

※ギャラリー入口での体温測定、手指消毒、マスク着用にご協力をお願いします。ご来場者様同士の社会的距離2mを確保いただき、37.5℃以上の発熱、咳・咽頭痛、全身倦怠感などの症状がある方は来場をお控えください。来場者多数の場合は入場制限を行うことがあります。

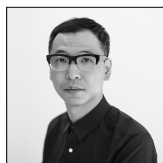
## グラフィック部門審査員

五十音順・敬称略



上西祐理 Yuri Uenishi | アートディレクター/グラフィックデザイナー

1987年生まれ。東京都出身。2010年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業、同年電通入社。2021年独立。今までの仕事に、世界卓球2015ポスター / テレビ東京、Laforet GRAN BAZAR 2019 SUMMER / Laforet など。趣味は旅と雪山登山。旅は42カ国達成。



田中良治 Ryoji Tanaka | ウェブ・デザイナー

1975年三重県生まれ。2003年にセミトランスベアレント・デザイン設立。主な活動に『tFont/fTime』(YGAM)、『光るグラフィック展1, 2』(クリエイションギャラリー G8)の企画、退屈展 (ggg)がある。



長崎訓子 Kuniko Nagasaki | イラストレーター

1970年東京生まれ。多摩美術大学染織デザイン科卒業後イラストレーターとして書籍の装画や挿絵、映画に関するエッセイ、漫画の執筆など多方面で活動中。装画に『武士道シックスティーン』『億男』など。女子美術大学ヴィジュアルデザイン専攻准教授。



服部一成 Kazunari Hattori | グラフィックデザイナー

1964年東京生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。ライブパブリシティを経てフリーランス。おもな仕事に、雑誌『流行通信』『here and there』『真夜中』、エルメス「夢のかたち」「petit h のオブジェたち」のアートディレクション、「弘前れんが倉庫美術館」のVI計画など。



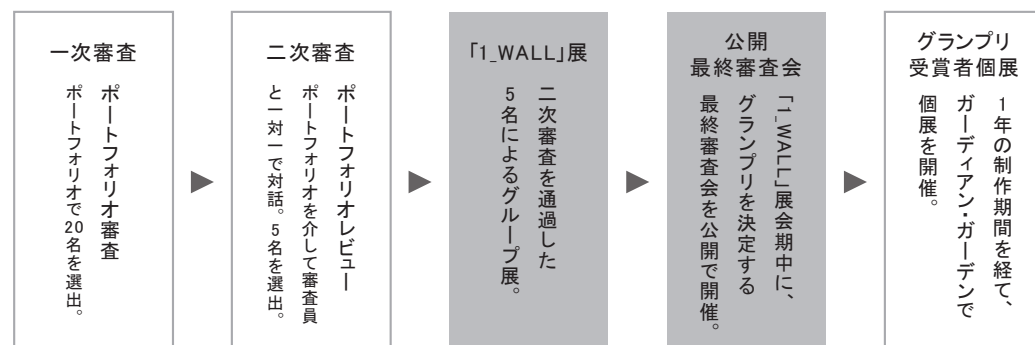
画:北村みなみ

室賀清徳 Kiyonori Muroga | 編集者

1975年新潟生まれ。グラフィック社編集部。グラフィックデザイン、タイポグラフィ、視覚文化についての編集、執筆、教育活動を行う。「The Graphic Design Review」(JAGDA)編集長。前『アイデア』編集長。

## 「1\_WALL」審査の流れ

一次審査と二次審査を通過した  
5名による最終プレゼン。  
グランプリは誰の手に？



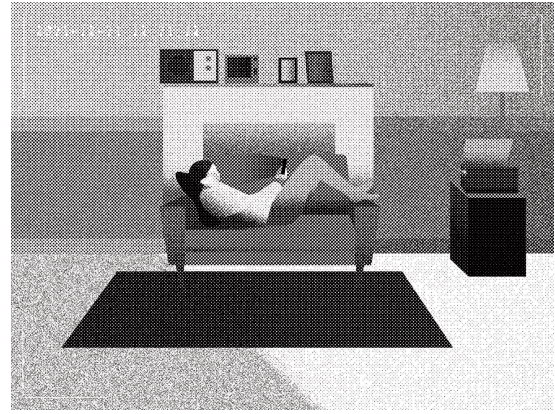
Twitter | @guardiangarden  
Facebook | facebook.com/guardiangarden.tokyo  
Instagram | guardian\_garden

株式会社リクルートホールディングス  
リクルートクリエイティブセンター  
ガーディアン・ガーデン  
〒104-8227  
東京都中央区銀座 7-3-5  
ヒューリック銀座 7丁目ビル B1F  
TEL 03-6835-2270  
WEB : <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>  
担当 : 渡部 rina\_watanabe@r.recruit.co.jp

**池田 洸太** Kota Ikeda  
1995年生まれ。  
東北芸術工科大学芸術学部美術科総合美術コース卒業。  
「雪」 仕事場から家までの道のり600mの風景を描きました。絶え間なく流れる川の音、今日話したこと、雪を踏み締めながら歩くスピードで、このひとときに寄り添って。



**儲 親愛** Chu Liangwen  
1996年生まれ。  
東京藝術大学大学院美術研究科修士課程絵画科油画専攻修了。  
「Our House Hour」 母への思いを下敷きに、今日における自己と他者や、社会の姿を果物に置き換えて静物を構成して、絵画、立体、インスタレーションなど様々な手法で制作しています。



**趙文欣** Zhao Wenxin

1996年生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科デザイン専攻在籍。

「Void Space | 真空空間」最も自然でリアルな人の姿を見守り、記録するため、監視カメラの視点を利用しました。多くの人はその存在に気づきませんが、そこに映る自分は不思議で身近な存在です。



**タツルハタヤマ** Tatsu Hatayama

2001年生まれ。多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻在籍。

「My angel is dead.」 生きている一瞬一瞬の行為はいつか儚く消えてしまう命の軌跡である。描くことは瞬間の感動を残す行為であり、自分の内側と外の社会をつなぐコミュニケーションでもある。



**平松可南子** Kanako Hiramatsu

1997年生まれ。

東京藝術大学大学院絵画専攻修了。同大学油画科教育研究助手。

「ありととり、持ち運べる水たまり」全ての事象は差異を持ち、その都度生成されていて、それは絵画も同じである。そして、それが展示される状況においては、鑑賞者との間に変容が起こる状況を作り出す。